

IBM SPSS Data Access Pack Windows 用
インストール手順



目次

第 1 章概要	1
概要.....	1
データ・アクセス・テクノロジーのデプロイ.....	1
ODBC データ・ソース.....	2
第 2 章 Connect ODBC のインストール手順	3
Connect ODBC の実行に必要な要件.....	3
Connect ODBC のインストール手順.....	3
Connect ODBC を使用したデータベースへの接続.....	4
エンド・ユーザーに必要な情報.....	4
索引	5

第1章 概要

概要

IBM® SPSS® 製品は、さまざまなファイル・タイプおよびデータベースのデータにアクセスするための一連のテクノロジーとともに配布されています。このガイドは、ネットワーク・コンピューター環境で使用するために IBM SPSS 製品をインストールし、エンド・ユーザーにリモート・サーバー上のデータベースへのアクセス権限を付与する必要があるシステム管理者に向けて主に記述されています。

IBM スポス データ・アクセス・パックは、DataDirect Connect and ConnectXE for ODBC をデプロイします。これには、ODBC を使用してすべての主要なデータ・ストア (リレーショナル・データベースからフラット・ファイルまで) に対する信頼性の高い接続を実現する、個別のデータベース固有のドライバーの包括的なセットが用意されています。

注: これらのデータ・アクセス・テクノロジーは、「閉じて」います。つまり、これらのテクノロジーは、IBM SPSS 製品でのみ使用できます。他のアプリケーションでデータベースにアクセスする場合は、より一般的なソリューションが必要になることがあります。

データ・アクセス・テクノロジーのデプロイ

Connect ODBC。 管理者またはエンド・ユーザーが、該当する Connect ODBC ドライバーをインストールできます。(Connect ODBC にはサーバー・コンポーネントはありません。) ドライバーは、データにアクセスするコンピューター (IBM SPSS サーバー製品が実行されるコンピューター、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューター、またはその両方) にインストールする必要があります。

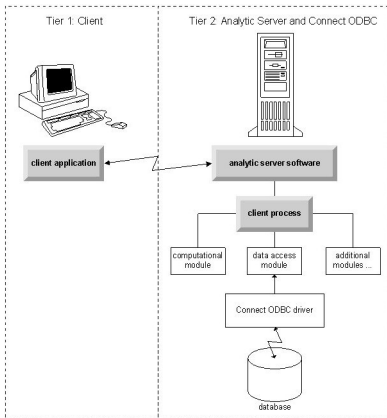


図 1. 分散分析モードでの Connect ODBC

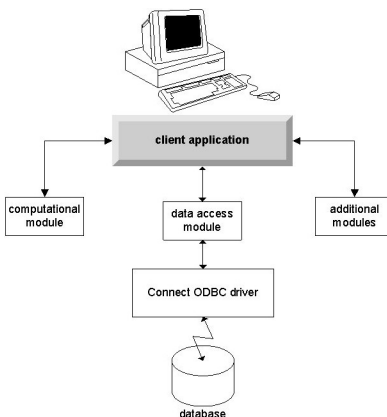


図 2. ローカル分析モードでの Connect ODBC

ODBC データ・ソース

Connect ODBC をインストールすると、1つ以上の ODBC ドライバーがインストールされます。インストールされたドライバを使用する前に、そのドライバに対する ODBC データ・ソースを作成し、構成する必要があります。

ODBC データ・ソースは、データにアクセスするために使用される **ODBC ドライバー**、およびアクセス対象の**データベースの場所**という2つの必須情報から成ります。データベースは、いずれのネットワーク・コンピューターにも配置できます。ODBC ドライバーおよびデータ・ソースは、データをアクセスし、処理するコンピューターに配置する必要があります。使用する IBM SPSS アプリケーションのタイプに応じて、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターとリモート・サーバーのいずれかに配置できます。

デスクトップ製品用の ODBC データ・ソースの場所

ご使用の IBM SPSS 製品が、すべてのデータ・アクセスと処理がエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターで発生する従来型の**デスクトップ・アプリケーション**である場合、ODBC データ・ソースはエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにインストールし、構成する必要があります。

分散アーキテクチャー製品用の ODBC データ・ソースの場所

ご使用の IBM SPSS 製品で**分散アーキテクチャー**が使用されている場合、ODBC データ・ソースの正しい場所は、製品の実行方法によって異なります。IBM SPSS 分散アーキテクチャー製品は、リモート・サーバー(分散分析モード)上またはエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューター(ローカル分析モード)上のデータにアクセスして処理するように構成することができます。

- **分散分析モードでの作業。** ODBC データ・ソースは、リモート・サーバーにインストールし、構成する必要があります。このデータ・ソースは、管理者がサーバーにインストールした ODBC ドライバー (Connect ODBC) を使用して作成されます。
- **ローカル分析モードでの作業。** ODBC データ・ソースは、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにインストールし、構成する必要があります。このデータ・ソースは、デスクトップ・コンピューターにインストールされている ODBC ドライバーを使用してエンド・ユーザーが作成するか、管理者が作成したソースからインポートされます。
- **両方のモードでの作業。** エンド・ユーザーが、両方のモードでデータベースのデータにアクセスする必要がある場合、ODBC データ・ソースは、リモート・サーバーとデスクトップ・コンピューターの両方でインストールおよび構成する必要があります。

第2章 Connect ODBC のインストール手順

この章では、サイトへの Connect ODBC のインストール、およびデータベースへの接続について詳しく説明します。

Connect ODBC の実行に必要な要件

コンピューターが、インストールするドライバーのソフトウェア要件を満たしていることを確認します。

- ご使用のアプリケーションが 32 ビットのシステム・ライブラリーでビルドされている場合は、32 ビットのドライバーを使用する必要があります。ご使用のアプリケーションが 64 ビットのシステム・ライブラリーでビルドされている場合は、64 ビットのドライバーを使用する必要があります。
- DataDirect Connect ODBC または Connect XE for ODBC を使用するとき、接続するデータベースは 32 ビット対応または 64 ビット対応のどちらでもかまいません。

特定のドライバーに追加ソフトウェアが必要かどうかを判別するには、DataDirect のホーム・ページ (<http://www.datadirect.com>) を参照してください。

Connect ODBC のインストール手順

Connect ODBC はドライバーのセットで構成されていて、データ・ソースを作成するコンピューターにインストールする必要があります。場所は、インストールする IBM SPSS 製品のタイプ、およびその使用方法によって異なります。詳しくは、トピック「1 ページの『データ・アクセス・テクノロジーのデプロイ』」を参照してください。IBM スポス データ・アクセス・パックは、別の IBM SPSS 製品と同じディレクトリにインストールしないでください。

サポートされるすべてのオペレーティング・システム用のドライバーは、IBM SPSS 製品に付属の eAssembly から入手できます。これらは、別個のドブド/シーディーからも入手できます。

IBM スポス データ・アクセス・パック をダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルを解凍します。

インストーラーを管理者として実行する必要があります。

1. Windows Explorer を使用して、 の実行可能ファイル (IBM スポス データ・アクセス・パック) の場所を参照します。
2. ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択します。
3. 画面に表示される指示に従います。

Connect ODBC のカスタム・セットアップ

「**Drivers for All Supported Databases**」。特定のデータベースに対する ODBC ドライバーをインストールします。ツリーをクリックして展開し、インストールするドライバーを選択します。

「**Informix and Oracle Client Drivers**」。Informix または Oracle Client (あるいはその両方) に対して非ワイヤー・プロトコルの Connect ODBC ドライバーをインストールするには、このオプションを使用します (クライアントはインストールしません)。これらのドライバーは、データベース・クライアント・ミドルウェアを使用して、データベースに接続します。特にデータベース・クライアント・ミドルウェア用のドライバーを使用する必要がない限り、「**Drivers for All Supported Databases**」にある Informix や Oracle のワイヤー・プロトコルのドライバーを選択してください。

DataDirect 製品資料

Connect ODBC 用の DataDirect の製品資料は、デフォルトで、IBM スポス データ・アクセス・パック インストール済み環境の一部として含まれています。インストーラーは、「スタート」メニューに、他のプログラムに加えて、IBM SPSS OEM Connect and ConnectXE for ODBC という項目を作成します。このメニュー項目から、DataDirect の製品資料にアクセスします。

注: 資料には、DataDirect のホーム・ページ (<http://www.datadirect.com>) からアクセスできます。

インストールの更新

セットアップ処理を繰り返すことで、いつでも追加コンポーネントをインストールできます。

注: IBM スポス データ・アクセス・パック から新しいバージョンのドライバーやクライアントをインストールしても、前のドライバーはアンインストールされません。そうではなく、新しくインストールしたソフトウェアが利用できるようになります。新しくインストールしたソフトウェアは手動で構成する必要があります。前のドライバーの構成は転送されません。前のバージョンのドライバーが正しく機能しているニーズを満たしている場合、新しいバージョンにアップグレードしないことをお勧めします。前はサポートされていなかったデータベースのサポートが必要になったとき、または機能強化が必要になったときのみ更新してください。

IBM スポス データ・アクセス・パック のアンインストール

アンインストールすると、コンポーネントとともにインストールされた ODBC ドライバーは削除されますが、ユーザーが定義した ODBC データ・ソースは削除されません。削除したドライバーを必要とする ODBC データ・ソースは機能しなくなります。Windows のコントロールパネルで ODBC データ ソース アドミニストレータを使用して、それらを削除してください。

Connect ODBC を使用したデータベースへの接続

Connect ODBC は、ODBC ドライバーのセットであり、これをインストールすると、ドライバーがインストールされます。インストールされたドライバーを使用する前に、そのドライバーに対する ODBC データ・ソースを作成し、構成する必要があります。ODBC データ・ソースは、データにアクセスするコンピューター上に作成する必要があります。ODBC データ・ソースの作成場所について、詳しくは [1 ページの『データ・アクセス・テクノロジーのデプロイ』](#) のトピックを参照してください。とともにインストールされる DataDirect 資料に付属) で、UNIX/Linux での製品の構成についてのセクションを参照してください。

ODBC データ・ソースを構成するには、以下を実行します。

1. ODBC データ ソース アドミニストレータを開きます。
2. To configure a new data source, click **Add**, select the driver that you want to use (the names of all Connect ODBC drivers begin with the text IBM SPSS OEM) and then click **Finish**. 「データ ソースの新規作成」ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 必要なフィールドおよび設定値を入力します。設定値はドライバーによって異なります。各設定の説明については、「ヘルプ」をクリックしてください。

注: インストールしたドライバーを使用するように既存のデータ・ソースを構成するには、リストからデータ・ソース名を選択し、「構成」をクリックします。

重要: サーバー製品で使用されるデータ・ソースを作成する場合は、ユーザー・データ・ソースではなくシステム・データ・ソースを作成する必要があります。

システム管理者がいる場合、Connect ODBC の構成方法についてはその管理者に問い合わせてください。

エンド・ユーザーに必要な情報

IBM SPSS サーバー製品および分散分析モードについて、エンド・ユーザーは次の情報を把握する必要があります。

- サーバー製品で使用する、リモート・コンピューターで構成されている Connect ODBC データ・ソースの名前および説明。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。
なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アンインストール
IBM SPSS Data Access Pack [3](#)

[タ行]

データベースへの接続
Connect ODBC を使用 [4](#)

[ヤ行]

要件
Connect ODBC [3](#)

C

Connect ODBC
データベースへの接続 [4](#)
デプロイの紹介 [1](#)
の概要 [1](#)
要件 [3](#)

O

ODBC データ・ソース
説明 [2](#)
ODBC データ・ソースの場所 [2](#)

